予算決算常任委員会

平成24年8月27日午前9時から第1会議室で開かれた。

1. 出席委員

◎飯高 昭二	○小林 誠	吉野 俊明
伴 吉晴	木澤 正男	木田 守彦
嶋田 議長		

2. 理事者出席者

副 町 長	池田 善紀	教 育 長	清水 建也
総 務 部 長	西本 喜一	総 務 課 長	黒崎 益範
企画財政課長	面卷 昭男	住民生活部長	乾 善亮
福 祉 課 長	植村 俊彦	国保医療課長	寺田 良信
健康対策課長	西梶 浩司	都市建設部長	藤川 岳志
建 設 課 長	川端 伸和	観光産業課長	清水 修一
会 計 管 理 者	野崎 一也	教委総務課長	西川 肇
生涯学習課長	佃田 眞規	上下水道部長	谷口 裕司
下 水 道 課 長	上田 俊雄		

3. 会議の書記

議会事務局長	藤原 伸宏	同 係 長	安藤 容子
--------	-------	-------	-------

4. 審査事項

別紙の通り

開会（午前9時00分）

署名委員 木田委員、小林委員

委員長 皆さんおはようございます。全委員出席されておりますので、ただいまより、予算決算常任委員会を開会し、本日の会議を開きます。

はじめに、町長が公務のため欠席されておりますので、副町長のほうからご挨拶をお受けいたします。 池田副町長。

（ 副町長挨拶 ）

委員長 それでは、本委員会の会議録署名委員を私より指名いたします。

署名委員に、木田委員、小林委員のお二人を指名いたします。両委員にはよろしく願いいたします。

本日予定しております審査案件は、お手元に配布しておりますとおりであります。

初めに、1. 各課報告事項についてを議題といたします。

まずはじめに、（1）平成23年度斑鳩町公共下水道事業特別会計継続費精算報告書の報告について、理事者の報告を求めます。

上田下水道課長。

下水道課長 それでは、平成23年度斑鳩町公共下水道事業特別会計継続費精算報告書の報告についてご説明させていただきます。

稲葉車瀬1丁目地内の路線延長520m、内径200mmから400mmの主要な幹線管渠である稲葉汚水幹線の築造工事を、平成22年度から平成23年度の2か年の継続事業として取り組んでまいりましたが、平成23年度、平成24年3月15日に工事が完了いたしましたことから、地方自治法施行令第145条第2項の規定によりまして、その報告をさせていただくものであります。

その内容につきましては、継続費精算報告書によりご説明申し上げます。資料1をご覧ください。

第1款 公共下水道費、第2項 下水道新設改良費、事業名 公共下水道事業（第12処理分区稲葉汚水幹線）。全体計画といたしまして年割額は、平成22年度、5,385万6千円、平成23年度、1億1,987万6千円、合計1億7,373万2千円でございます。

次に、実績としまして支出済額は、平成22年度、5,385万6千円、平成23年度、1億1,987万5,950円、合計1億7,373万1,950円でございます。

比較としまして、平成23年度の支出済み額及び合計で端数処理として50円でございます。

以上で、9月定例議会に報告を予定いたしております平成23年度斑鳩町公共下水道事業特別会計継続費精算報告書の報告についてのご説明とさせていただきます。

委員長

報告が終わりましたので、質疑をお受けいたします。

(な し)

委員長

本件については、9月定例会初日に報告されることと思いますので、あらかじめ説明を受けたということで終わっておきます。

次に、2. 継続審査、(1) 予算補正を必要とする事務事業についてを議題といたします。

9月定例会に提案を予定されております一般会計及び各特別会計にかかる補正予算について、あらかじめ説明をお受けしたいと思います。

まず初めに、① 平成24年度斑鳩町一般会計補正予算（第2号）について、理事者の説明を求めます。 面卷企画財政課長。

企画財政
課長

それでは、継続審査の①平成24年度斑鳩町一般会計補正予算（第2号）につきまして、ご説明を申しあげます。

恐れ入りますが、資料2をご覧くださいませでしょうか。

まず、今回の補正につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出そ

れぞれ6億688万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ88億5,896万5千円とするものでございます。

はじめに、歳入予算の補正についてでございます。

第9款 地方特例交付金では、平成24年度の減収補てん特例交付金交付額の決定により、11万3千円の増額補正をお願いしております。

次に、第10款地方交付税では、平成24年度の普通交付税の交付額の決定により、1億2,891万4千円の増額補正をお願いしております。

次に、第15款県支出金では、総務費県補助金で、当初予算に計上している瓦塚古墳群の町指定文化財候補文化財調査事業が新たに活力ある市町村応援補助金の対象事業として採択されましたことから、200万円の増額補正をお願いしております。

次に、第19款繰越金では、平成23年度会計の決算余剰金の確定により、4億8,375万4千円の増額補正をお願いしております。

次に、第20款諸収入では、平成23年度の福祉医療費助成事業県補助金の精算により追加交付を受けることから、140万8千円の増額補正をお願いしております。

次に、第21款町債では、臨時財政対策債の発行額の確定により、930万円の減額補正をお願いしております。

続きまして、歳出予算の補正についてでございます。資料の裏面をご覧くださいいただけますでしょうか。

はじめに、第2款総務費では、一般管理費の地域集会所施設整備の支援で、地域集会所施設整備費補助金の補助率及び補助対象を拡充したことにより、事業実施される自治会が増えたことから、当該補助金210万円の増額補正をお願いしております。財産管理費では、役場庁舎の維持管理で、役場庁舎の中央監視装置について、本年6月に実施した保守点検において不具合が発見され、設備の更新が必要となったことから、440万円の増額補正と、土地開発基金用地の取得で、今後の土地開発基金用地の活用を図るため、平成23年度から決算余剰金を活用して買い戻しを進めている基金保有地のうち、3件の代替用地の買い戻しについ

て、本年度において残る2件、阿波2丁目及び興留5丁目地内の保有地を買戻してまいりたいことから、1億7,213万8千円の増額補正をお願いしております。防犯対策費では、自治会防犯灯設置への助成で、地域での防犯意識の向上とLED防犯灯への切り替えが増えていることにより、防犯灯設置補助金の申請件数が大幅に増加していることから、当該補助金107万円の増額補正をお願いしております。

東日本大震災支援対策費では、岩手県大槌町への支援で、東日本大震災の被災地である岩手県大槌町の復興を図るため、町職員を派遣して業務の支援を行うことから、その所要額178万3千円の増額補正をお願いしております。

次に、第3款民生費では、医療対策費の福祉医療制度の運営で、平成23年度の福祉医療費助成事業県補助金の精算に伴い、超過交付分を返還することから、償還金96万5千円の増額補正をお願いしております。

障害福祉費では、障害福祉内部事務で、平成23年度の障害者自立支援給付費等国庫負担金の精算に伴い超過交付分を返還することから、償還金458万8千円の増額補正をお願いしております。児童福祉費では、児童福祉内部事務で、平成23年度の次世代育成支援対策国庫交付金の精算に伴い超過交付分を返還することから、償還金30万円の増額補正をお願いしております。保育園費では、保育園の充実で、待機児童の解消を図るため、あわ保育園において、新たに調理室を新築し、現在の調理室を保育室に改修してまいりたいことから、その所要額8,000万円の増額補正をお願いしております。

次に、第4款衛生費では、感染症予防費のポリオ予防接種の実施で、本年9月1日からポリオの定期予防接種が生ワクチンから不活化ポリオワクチンに切り替わることにより、集団接種から医療機関での個別接種となることから、その所要額994万7千円の増額補正をお願いしております。

次に、第6款商工費では、歴史街道ネットワーク事業費のまちなか観光の推進で、歴史的風致維持向上計画の策定にあたりまして、国土交通省等での本省協議が必要となったことから、その旅費62万1千円の増

額補正をお願いしております。

次に、第8款消防費では、災害対策費の自主防災組織の支援で、自主防災組織の育成並びに活動を支援するとともに、地域の防災力の強化を図るため自主防災組織補助金を創設してまいりたいことから、115万円の増額補正をお願いしております。

最後に、第12款予備費では、今回の補正から生じた財源3億2,782万7千円を留保することといたしております。

以上で、平成24年度斑鳩町一般会計補正予算（第2号）につきましてのご説明とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

委員長 報告が終わりましたので、質疑をお受けいたします。
木澤委員。

木澤委員 歳出の民生費のところの保育園の充実なんですけども、厚生常任委員会も傍聴させていただきまして、増えてきている児童に対して、対応していこうということで、新たに給食室を設置して、今のある給食室を保育室にするということでの対応について、総合的に理解をしているんですけども、ただその中でちょっと気になったのが、調理室を新たに作る、給食室をつくと、ちょっと保育園の運動場が小さくなってしまふのかなという点で、保護者等から、何か意見は何か出てないのかなと、その辺がちょっと気になったんですけども。

福祉課長 確かに建物を建てると運動場そのものは狭くなりますが、保育園の設置基準以上の、その建物を建てたあとでも、保育園の設置基準の運動場の広さというものは確保できております。現在は8月の16日に保育所運営委員会でこの旨を説明させていただきまして、その中で委員さんから運動場が狭くなるかという質問がありまして、基準はクリアしておりますという回答はさせていただいております。保護者の委員4人おられるんですが、保護者の方からは、直接運動場に関する質問はございませんでした。

木澤委員 直接意見はなかったということですが、私も、先日あわ保育園の夕涼み会がありまして、そこに保護者会のほうで参加させてもらう中で、小さくなるなということがやっぱり話題に出まして、やっぱり子どもたちが自由に活発に活動できるようなスペースを確保してほしいという声も聞いていますのでね、予算も伴うものでありますんで、運動場を広げるということになると、やっぱり新たに用地を買収していく等、条件がでてくるとは思いますけども、できる限りそういった保護者などの声も十分に対応していったいただけるように、また検討していただきたいと思いますので、よろしく願いしておきます。

委員長 他にございませんでしょうか。 木田委員。

木田委員 歳出のほうで総務費の中の、目の一般管理費の中の地域集会所施設整備の支援ということで、210万円ですか、増額されて補正されておりますけども、総額として、12億858万9千円ですか、その地区とか詳細についてですね、どういう何で、こういうふうにならなくなったかというの、全体的な何を教えていただきたいと思います。

委員長 黒崎総務課長。

総務課長 地域集会所に関するご質問でございますが、昨年、要綱のほう改正をしまして、改正前につきましては、11自治会で、この分だけですけども、263万円ほどの当初予算計上をしておりました。そして要綱改正後、自治会のほうから追加のほうですね、要望を受けまして、15の自治会で473万円ほどの増額になりましたので、その分210万円の補正をさせていただきます。

木田委員 それとね、施設整備という中でね、今、補償のなんで、幸前なんかでも、幸前自治会の公民館の建設とかしてはりますわな。だからそういう

予算がね、地域集会所とかでも、あれ1億なんぼかでやってはりますやろ、その個別的な何を教えていただきたいと思いますねけどね。わかったら、それを教えていただきたいと思います。

総務課長 当初予算の関係ですけども、まず自治会名で服部自治会が修繕で事業費としては12万6千円ほど、補助金のほうが8万4千円、続きまして自治会名が法隆寺緑ヶ丘住宅の41万9千円、東里の自治会として補助金として50万2千円、目安自治会が85万7千円で、幸前自治会の方が集会所の新築ということで、1,918万円補助金のほう計上はいたしておりました。それに今回の要綱の改正に伴いまして、プラスですね、修繕、制度改正に伴いまして、修繕が7件、備品の購入が7件、修繕と備品を一緒にされる自治会が1件追加されたということでございます。

木田委員 幸前の自治会にですね、1,918万円ですか、当初予算の何って言ってはりますねんけど、今現在建設してはる何がですね、3,500万ってなんか予算言ってはりまんねんけど、それはこの一般会計のほうからは、何で出して、そんで補償の方からあと残りの何を出そうというふうに、町の方は考えておられるのかですね、それはどういうふうになっているんですかな。

委員長 西本総務部長。

総務部長 幸前の集会所の補助金につきましては、質問者がおっしゃいましたとおりで、まず地域集会所整備補助金でそれぞれ補助を出して、その後、地元負担の分については補償のほうで支払うと、このようになっております。

木田委員 そうしたらね、これ幸前にとってはありがたいことなんですけどもね。やっぱり高安とか、睦とか、高安西とかも今まで補償してこられた何もあつたし、東里もあるやろうし、そうした中で、幸前が突出したような形

にならへんのかなというふうに思いますねんけど、それについては、用地はもう町の何を利用するわけですよ。そしたらそれは別に他のほうからそういうクレームは出てこないのかなって、私はそういうふうに思うんですけど、どうなんですよ。

委員長 池田副町長。

副町長 ちょっと、今どういうクレームか理解しかねますけども、建物自体は3千数百万円ということで、特に特段今までいろいろ集会所建っておりますけども、突出したとは理解しておらないんですけども。それと先ほど質問の中で、10何億と言われましたけども、これ10何億というのは総務費全体で10何億の予算ですので、ちょっとご理解いただきたいと思います。あくまでも、集会所の補助金としては先ほど黒崎課長申しましたように約2,600万円となっております。その中に、ここに今回の補正予算は、先般、補助要綱を充実させていただいて、その充実させていただいた補助金に基づいて各自治会で集会所をよくしていこうということを出していただきましたので、補正予算としてあげさせていただいておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

木田委員 それとね、用地についてなんですが、あれは町の今まで公園用地としての所有地になってましたやろ。それが、幸前自治会はまだ地縁団体の設立も行われてないのでね、今までから幸前の場合はですね、自治会長あるいはその以前は総代の名義でみんなやっていたという何があるからね、だから、建物自体は個人の名義で登記するような形になるのではないかなという、そういう心配があるねんけど、それはちゃんとできてますんかな。

副町長 土地につきましては町有地になっておりますので、町の財産として管理させていただくと。他の自治会でもそういうことはございます。町有地に集会所が建っていると、そういう形態になってくるかと思いの

で、幸前のほうに所有権が移るということは今のところ考えておらないです。

木田委員　　ほんで、土地のほうはそんでよろしいやんか、だけど建物のほうはね、結局、公民館やいうのにね、それも町のほうで所有ということになるんですか。

副町長　　建物については自治会で所有されますんで、一番よいのはやっぱり幸前の自治会で地縁団体を設立していただいて、ちゃんと登記していただくのが一番よろしいかと思えますんで。地元の町会議員さんでありますので、木田委員さんもその旨指導よろしくお願いいたしたいと思えます。

木田委員　　やっぱりね、そうした心配もあるからね、そういうちゃんと話し合いもしてもらっているのかなという、そういう心配があるからね。やっぱりそりゃ地縁団体の設立が、今すぐにとはこれはでけへんやろうと思うけどね、やっぱりそれでなかったら個人の名義になってしまっているからね、幸前の場合は。だからその心配を取り除いてもらわなければ、どういう形でやっぱり不祥事が発生するかもわからんという心配はあるからね。やっぱり総代とか自治会長が実印を持って対応しておられるという何があるから、やっぱり、そういうことをきちっとやってもらいたいなというふうに思えますので、またそっちの指導もね、やっぱりやってもらいたいと思えます。

委員長　　他にございませんでしょうか。　　伴委員。

伴委員　　歳出のほうの保育園、民生費の保育園の充実ですもんけど、これは8千万という金額が出ているんですが、非常に大きな金額ですもんけど、これで非常に増加している保育園児に対して、ある程度先まで対応できるというように踏んでおられるのか、そのあたりちょっとお聞きしたいんですが。

委員長 植村福祉課長。

福祉課長 給食調理室につきましては現在約、職員も含めて260名対応ですけれども、これを280名対応にしていこうという考えでおります。で、保育室につきましても、だいたい2歳児以降になりますと、およそ20人ぐらいの増員を今回改修することで図れるというふうに考えておりました。ただ、この秋、9月以降に新しい25年度の入所受付を開始いたしますもので、それらの動向を見ながら考えていきたいと思いますが、現在の待機者がおられますけれども、それについては解消できるというふうに思っております。

伴委員 今のお答えでしたら、20名の園児がこれによって、行っていただくことができるけど、増加に対してどこまで対応できるかわからないというような格好で、今回これで少しでも教室を増やしていただくということは理解できますねけど、今後どう考えておられるのか、ちょっともしその辺、難しいと思いますねんけど、なんかその辺のお話をお聞きしたいんですが。

委員長 池田副町長。

副町長 今後の動向でございます。今、課長も申しあげましたように、当面20名程度の増加を見込んでおると、今後、例えばもうあわ保育園で今以上に園児数増えてきたら、これはもう、それこそ大きな増築をしないと園児さんは受け入れできないということになってまいります。たつた保育園はもう今いっぱい、もう増築の余地がないほどいっぱいです。そうした中でこれからどれぐらい出生されるんかということにもなってきますんで、やはりもう少し状況を見きわめていく必要があると考えております。あと近隣の保育園がどう整備されるか、民間ですけれども、国のほうでも民間の保育園をどんどん奨励をいたしておりますので、そ

れがどれだけ充実されるのかということにも関わってまいるかと思いませんけども、今はそれを動向を見極めて、今後どうするか、足らなかったら町立保育園をどうするか、また私立保育園を誘致するか、それらは今後の課題であると考えておりますので、もう少し動向を見守っていきたいと考えております。

伴委員 非常にこれから心配な部分やと思えますので、できるだけその辺、適切に対応していただくようお願いいたします。

もう1点、商工費のまちなか観光の推進で62万1千円と出ているんですけども、旅費って説明で聞きましてんけど、これはだいたいどれぐらい回数行かれて、何人ぐらい行かれるので62万1千円というの見積られているのでしょうか。

委員長 清水観光産業課長。

観光産業課長 これは国との協議が必要になったことから、2人の職員で東京日帰りで10回の予算を組んでおります。以上です。

伴委員 ほんだら、これはもう旅費だけで、確実に日帰りで往復されるような感じで考えておられるような感じですか。

観光産業課長 そのとおりでございます。

課長

委員長 他にございませんでしょうか。

(な し)

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。
本件については、一定の審査を行ったということで終わっておきます。
次に、② 平成24年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第

2号) についてを議題といたします。理事者の説明を求めます。

寺田国保医療課長。

国保医療
課長

それでは、継続審査の②の平成24年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)につきまして、ご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、資料3をご覧くださいませでしょうか。

今回の補正予算につきましては、平成24年度の前期高齢者交付金の概算交付金の確定と、この確定に伴います国庫・県支出金の補正、後期高齢者支援金医療費拠出金、介護納付金の確定、前年度療養給付費負担金等の精算に伴います追加交付及び返還に係ります補正、財政調整交付金に係ります補助割合変更等によります補正、前年度繰上充用の執行に伴います補正となっております。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,590万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ35億8,060万9千円とするものでございます。

それでははじめに、歳出予算の補正につきましてご説明を申し上げます。まず、下段の歳出総括表(案)をご覧くださいませでしょうか。

はじめに、第3款後期高齢者支援金では、平成24年度の後期高齢者支援金の額が確定しましたことから、1,907万4千円の増額補正をお願いするものでございます。次に、第6款介護納付金につきましても、平成24年度の納付額が確定したことから、78万6千円の増額補正をお願いするものでございます。

次に、第10款諸支出金についてでございます。3,796万6千円の増額補正をお願いするものでございます。その内訳は、一般被保険者償還金で、療養給付費等国庫負担金に係ります過年度分の返還として、3,711万6千円の増額、特定健康診査等負担金に係ります過年度分の国・県への返還として、それぞれ34万円の増額補正を、出産育児一時金負担金では、出産育児一時金補助金に係ります過年度分の返還として、17万円の増額補正をお願いするものでございます。

次に、第12款前年度繰上充用金では、平成23年度決算により、執行額が確定したことから、191万7千円の減額補正をお願いするもの

でございます。

続きまして、歳入予算の補正についてでございます。

上段の歳入総括表（案）をご覧くださいませでしょうか。

はじめに、第2款国庫支出金では、3,733万7千円の減額補正をお願いするものでございます。その内訳は、療養給付費等負担金では、医療費給付費現年度分で、この負担金の精算に用いられます前期高齢者交付金の確定によりまして、3,542万2千円の減額、後期高齢者支援金分現年分で、後期高齢者支援金の確定によりまして、185万6千円の増額、介護納付金分現年分で、介護納付金の確定によりまして、276万1千円の減額補正をお願いするものでございます。

財政調整交付金では、医療給付費分普通財政調整交付金で、この交付金の算定に用いられます前期高齢者交付金の確定及び補助割合変更によりまして、350万1千円の減額、後期高齢者支援金分普通財政調整交付金で、後期高齢者支援金の確定及び補助割合の変更によりまして、242万円の増額、介護納付金分普通財政調整交付金で、介護納付金の確定及び補助割合変更によりまして、7万1千円の増額補正をお願いするものでございます。

次に、第3款療養給付費等交付金では、前年度の交付金の確定に伴います交付不足分の追加交付がございまして、553万5千円の増額補正をお願いするものでございます。

次に、第4款前期高齢者交付金では、平成24年度の概算交付額の確定したことから、3,889万6千円の増額補正をお願いするものでございます。

次に、第5款県支出金では、財政調整交付金3,118万4千円の増額補正をお願いするものでございます。第2款の国庫支出金の財政調整交付金と同様の理由で、医療給付費分普通財政調整交付金で1,893万5千円の増額、後期高齢者支援金分普通財政調整交付金で916万6千円の増額、介護納付金分普通財政調整交付金で308万3千円の増額補正をお願いするものでございます。

最後になりましたが、第10款諸収入についてでございます。

歳入欠かん補填収入で、歳出予算の補正のところでご説明申しあげました前年度繰上充用金の補正額と同額の191万7千円と、今回の予算補正において歳入が歳出を上回ったことによって生じた財源1,954万8千円をあわせまして、1,763万1千円を増額補正をさせていただくものでございます。

以上で、平成24年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）につきましてのご説明とさせていただきます。

何とぞ、よろしくお願い申しあげます。

委員長 報告が終わりましたので、質疑をお受けいたします。
木澤委員。

木澤委員 歳入のところの、前期高齢者交付金なんですけども、この前期高齢者交付金というのが設定されてから、結構な額が歳入が入ってきてまして、しかも、毎回毎回、これ増えていってますね。これ単純に前期高齢者の数が増えているから、交付金が増えてきているというふうに理解していいんですか。

国保医療課長 前期高齢者とは、65歳から74歳のことを申しあげますけれども、この健康保険組合等の被保険者の加入が、前期高齢者の年齢になりますと、どうしても退職して、扶養家族ともども、この市町村の国保に当然入ってこられます。その加入者が増えたということで、年々増えてきております。

木澤委員 状況として、退職者が入ってきていると。そして、それに伴って交付金も増えていると理解をするんですけども、そんな中で、今後、決算については、9月の開会中の委員会の中でも詳しくまた説明もいただけるというふうに思うんですけど、今回、繰り上げ充用マイナスなってるということは、単年度で、少し黒になったのかなということですけども。ちょっと、よその、近隣の市町村なんかの状況も聞いていると、国保が

だいぶ黒字出たよというところもあるけれども、斑鳩町がなんでそうならへんのかなということが、ちょっとよくわからなかったんですけども。担当のほうでは、近隣との比較っていうふうに言うと、どんなふうにご考えておられますか。

国保医療課長 今年度、決算のときに申しあげますけれども、平成23年度の国民健康保険事業特別会計の決算では、歳入で30億1,717万円、そして歳出で34億7,995万円、差し引きで約4億6,278万円の決算となりました。それで、この単年度で決算を見てみますと、約2,200万円の赤字。そして24年度に返還すべき療養の給付費等の負担金ですけども、3,711万円。そして、受け取るべき療養給付費の交付金が554万円が入ってきますので、実質的な単年度の収支では約5,300万円弱の赤字となります。過去3年間、黒字となっておりましたけれども、これは先ほど委員が申されましたように、前期高齢者交付金に占める割合が、大きく黒字となっておりましたけれども、23年度の決算で見てみますと、前年度に比べまして保険給付費が20億ちょっと超えてまして、その占める割合が大きいございまして、この単年度の赤字になったものと考えております。そして、奈良県の市町村の決算を見てみますと、黒字と赤字が、赤字のほうが若干多いと、こないだ数字でちょっと見たんですけども、出ておりますので。また次回の委員会で、確かな黒字と赤字の市町村の数字をまた説明させていただきたいと思っております。

木澤委員 同じように、生駒郡の中でも、例えば、それぞれ町によってある病院のある数なんかも違うでしょうけれども、それでも結構な国保財政の違いというのがあったと思いますのでね、また次の委員会のときに詳しく説明いただけるということですけども。

国保医療課長 次回の委員会と申しあげましたけれども、今現在、資料見つかりましたので。単年度の収支の決算で、奈良県の市町村23年度、見てみます

と、黒字の団体が16、そして赤字の団体が23ございます。

木澤委員 今、県下の市町村の黒字・赤字の団体の数を言っていました。また、詳しい内容については、また次回の委員会の際に説明いただけるということですので、その際にもしっかりと審査していきたいと思しますので、よろしくお願いします。

委員長 他に、ございませんでしょうか。

(な し)

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。本件についても、一定の審査を行ったということで終わっておきます。次に、③ 平成24年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。理事者の説明を求めます。植村福祉課長。

福祉課長 それでは、平成24年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）についてでございます。

今回の補正の主な内容といたしましては、平成23年度の介護保険事業特別会計の執行額確定に伴います繰越金と、国、県、社会保険診療報酬支払基金からの負担金、交付金等の精算に関するものでございます。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,436万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ18億8,276万7千円とするものでございます。

それでは、資料4の歳入歳出の総括表案をもってご説明をいたしたいと思っております。

まず、上段の歳入からでございます。第10款繰越金でございます。平成23年度の当特別会計の決算において、歳入額が歳出額を上まわったことから、その差額を平成24年度に繰り越すものでございます。

1,436万7千円の増額補正をお願いするものでございます。

次に、下段の歳出についてでございます。まず、第5款諸支出金でございますが、第1号被保険者保険料還付金につきましては、平成23年度の決算の確定に伴うもの及び過年度分の未請求分がありまして、これらを平成24年度で処理することを可能とするため、150万5千円の増額を、また、償還金では、介護給付及び地域支援事業にかかります国庫支出金、県支出金及び支払基金交付金に超過交付があったことから、これらを償還するため、償還金として826万5千円の増額の補正をお願いするものでございます。

最後に、今ご説明いたしました歳入の補正額と歳出の諸支出金の補正額に差額を生じまして、歳入が歳出を上回っておりますため、その差額を第3款 基金積立金といたしまして、459万7千円を基金に積み立てることができるよう、増額の補正をお願いするものでございます。

以上、平成24年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）についての説明とさせていただきます。

よろしくお願いたします。

委員長 報告が終わりましたので、質疑をお受けいたします。
木澤委員。

木澤委員 歳入のところで純繰越金という形で上げていただいていますけれど、今、第5次の介護保険計画のなかで、一定決算の締めが終わって、この数字っていうのは、計画どおりに進んでいるというふうに見ていいのかどうか。その点はどうですか。

福祉課長 最終的には3か年全体としては、給付費用も100%をわずかに超えるといった状況ですので、概ね計画通りの給付量だったというふうに思っております。ただ、若干、基金を最終的には、基金を取り崩していかなければならない状態で、約3千万円ぐらいの基金になったということですので、少し計画よりも超過していたという状況ですが、ただ、概ねは先ほど申しましたように概ねは計画通りだったと思っております。

木澤委員 介護保険ですと、1件で大きな金額が出るとまた、ものすごい大きな金額になってくるということで、その予想の範囲内でおさまっているというふうに理解はしておきますけど。

あともう1点ですね、この間、県のほうで積み立ててきた基金、3分の2取り崩して、活用を図っていくということで、年度当初に、県のほうと、国のほうの基金の取り崩し分の使い道ですね、これも、町のほうから今、介護保険、保険料が引き上がって、大変やからということで、国のほうにも声を上げてほしいというふうにお問い合わせをしましたが、その後の動向というものはつかんでおられるでしょうか。

国保医療課長 奈良県につきましては、その基金を介護予防に関する事業に使うということをおっしゃっていますが、国につきましても、法的にその基金を取り崩すときには、介護予防に使うという前提で、基金の目的外利用するということにはなっているんですけども、具体的な内容については、国のほうからまだ示されている状況ではございません。

木澤委員 やっぱり、保険料が上がって、保険者の皆さん、大変な思いをされていますので、引き続き、国のほうに、早く態度を明確にして、やっぱり保険料の高騰を抑えるということに、今後充用していけるように、引き続き声を上げていっていただきますようお願いしておきます。

委員長 他にございませんでしょうか。

(な し)

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。
本件についても、報告を受け、一定の審査を行ったということで終わっておきます。

次に、④ 平成24年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算（第

1号)についてを議題といたします。理事者の説明をお受けいたします。
寺田国保医療課長。

国保医療課長 それでは、継続審査の④の平成24年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)につきまして、ご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、資料5をご覧くださいませでしょうか。

今回の補正予算につきましては、平成23年度会計におけます繰越金の確定と、この繰越金を財源とした後期高齢者医療保険料等負担金及び被保険者保険料の払戻しに要する補正となっております。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ123万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ3億3,223万4千円とするものでございます。

はじめに、歳入予算の補正についてでございます。

上段の歳入総括表(案)をご覧くださいませでしょうか。

まず、第5款繰越金で、平成23年度会計の出納整理期間中に収納のあった保険料等を繰り越すもので、123万4千円の増額補正をお願いするものでございます。

続きまして、歳出予算の補正でございます。下段の歳出総括表(案)をご覧くださいませでしょうか。第2款後期高齢者医療広域連合納付金では、繰越しする保険料を広域連合に納付することから、後期高齢者医療保険料等負担金54万2千円の増額補正をお願いするものでございます。次に、第3款諸支出金では、繰越しさせていただく広域連合からの還付金を被保険者に返還することから、69万2千円の増額補正をお願いするものでございます。

以上で、平成23年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)につきましてのご説明とさせていただきます。

よろしく願いをいたします。

委員長 報告が終了しましたので、質疑をお受けいたします。

(な し)

委員長

ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

本件についても、報告を受け、一定の審査を行ったということで終わっておきます。

次に、⑤町道における事故報告についてを議題といたします。理事者の説明を求めます。 川端建設課長。

建設課長

それでは、町道における事故についてを報告させていただきます。

町道施設が起因と考えられる事故が3件発生いたしましたので、ご報告申しあげます。

これらの事故は、8月2日に2件、8月14日に1件発生いたしました。それでは、それぞれの事故についてご説明申しあげます。

1件目の事故でございますが、8月2日の午前8時30分頃に発生しております。場所は興留8丁目5番8号のパイン法隆寺というアパートの前の町道425-3号線でございます。起因となりましたのは、当該アパート前の町道上のマンホール付近で舗装の一部が陥没しておりました。この陥没した部分につまずき、左足を骨折されたという事故であります。被害者は78歳の女性でございました。現在、治療されているところでございます。

続きまして、同日の8月2日の午後1時50分ごろに発生いたしました事故でございますが、場所は龍田北4丁目3番26号瀬戸さんという方の前の町道108号線でございます。この町道は狭隘な道路でありまして、コンクリートの側溝蓋に車が乗り上げ落車し、当該被害車両の前のバンパーの下部を損傷したという事故であります。

次に、3件目の事故であります。8月14日午前11時頃に発生いたしました。場所は法隆寺南1丁目5番13号佐伯宅前の町道402号線でございます。並松商店街の道路でございます。この町道も狭隘な道路でございます。近隣商店へ商品を納品する車両が、駐車場へ進入しようとしたところ、グレーチングに乗り上げたときに、そのグレーチング

が跳ね上がり、右前の燃料タンクに突き刺さり損傷したという事故でありました。

以上3件の事故が発生いたしております。この事故につきましては、現在全国町村総合賠償補償保険事故報告を行っております。

また、被害者との示談等につきましては、顧問弁護士及び保険会社と協議しながら、調整しているところでございます。損害賠償等が決定いたしましたならば、地方自治法第180条第1項の規定によりまして、専決処分をさせていただきたいと考えております。

なお、事故が発生いたしました損傷箇所につきましては、補修等の安全対策を現在行っているところです。また、興留8丁目での陥没におきましては、興留8丁目地内道路の調査を行い、現在のところ異常がないことを確認させていただいたところです。

以上、概略ではございますが、町道における事故報告とさせていただきます。

委員長 報告が終わりましたので、質疑をお受けいたします。
木澤委員。

木澤委員 3件事故というので、また公用車の事故かなというふうに思ったら、どうもこれ舗装の整備不良等ということで、たまたまこの時期に3件起こったというふうに捉えるべきなんか、なかなかね、舗装がだいぶ傷んできている段階にきているというふうにとるべきなのか、ちょっとよくわからなかったんですけども。3件とも、1件目の骨折しはった分については道路完全に陥没していたということですが、残り2件の分についても、やはりマンホールの設置の状況が痛んでいるとか、このグレーチングが跳ね上がったというのも、側溝の整備の状況が悪い状況になってしまっていたとか、そういうのは現地確認されてどういう状況だったんでしょうか。

建設課長 2件目の車が、側溝蓋が、細いU字溝の側溝の上に、側溝蓋が、まあ

ちょっと複雑な場所でしたので、コンクリで修正して蓋かけてましてんけど、これも一応見た目が壊れている状態には見えなかったんで、そこへたまたま前の車があつて、すれ違いざまにちょっと上へ乗り上げてそれが落ちたと、そして、前の下部を損傷したという状況ですので、ちょっと細かい内容でしたんで、一応パトロール等はしておりますねんけど、目視状態の確認が多いんで、そういう細かい損傷が見逃したということも考えられます。またグレーチング、並松で起きたグレーチングの件ですんけど、そこの細いU字溝に乗っている通常のグレーチングと違いますか、家に進入する際とか、駐車場に進入される際に置かれるグレーチングですんけど、現状は曲がった状態ではないです、見た目は真直ぐなっておりますし、そういう状況で、ただ、ほんま小さな段差があつたのかなという考えもありますねんけども、それがそこにタイヤが、2トン車ですんけど、乗り上げてちょっと斜めになって刺さつたんじゃないかなということで、事故報告等もそういうふうにみさせてもらってます。これにつきましても、今、保険会社と協議しながらどういう状況の補償をするのかどうかということも検討しているところです。

木澤委員 どちらもね、普段パトロールしていただいていると思いますんで、目視でなかなか確認できない状況の中で、こうして事故が起こっていることについては、今後、更なる整備と点検等強化していただけるというふうに思ってますけども。やっぱり時期的にそういう目に見えないところで、破損っていうんですかね、町道の舗装状況が悪くなってきているのかなというふうにも、ちょっと3件続くとね、そういうふうに思いますんで、その点についても町のほうとして対応していけるように、また強化していただきたいと思いますんで、よろしく願いしておきます。

委員長 他に。 伴委員。

伴委員 ちょっと1点だけお聞きしたいんですけど。これは珍しいことですか、それともまあ言えば、こういうことはたまにあるというふうに認識され

ているか、その1点だけちょっとお願いします。

建設課長　　こういう事故について、事故になるというのはそんな多くはないです。ただ、陥没等につきましては、特にこの興留8丁目の道路につきましては、かなり古い団地ですんで、集中浄化槽という形で、大きな浄化槽に全部が集中して、その配管を道路の下にしてあります。その配管も古くなって、たまたまその古いマンホールのところへ土がなんぼか吸出しというか流れてて、小さな空洞ができていた、それが気候とかそういう事情で、大きい車が乗ったということもあるんでしょうが、陥没したということですので、そういう陥没ということは、割りと夏場かなりよくたまに聞きますんで、ほとんどこの補修等は早急に今やっておりますねんけど、状況も見てパトロールやって、補修も何回もやっているところですので、それがそういう、すぐ陥没した後に、すぐに事故になってしまったという状況になっております。

委員長　　他にございませんでしょうか。

(な し)

委員長　　ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。
本件についても、報告を受け、一定の審査を行ったということで終わっておきます。

以上、継続審査については、終わります。

理事者のほうから何か報告することがありましたら。

(な し)

委員長　　ないようですので、次に、3. その他について、委員の方から何かございましたらお受けいたします。

(な し)

委員長

その他についても、これをもって終わります。

これをもって、本日の案件についてはすべて終了いたしました。

なお、本日の委員会報告のまとめについては、正副委員長にご一任いただきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

委員長

異議なしと認めます。

それでは、閉会にあたり副町長の挨拶をお受けいたします。

(副町長挨拶)

委員長

これをもって予算決算常任委員会を閉会いたします。

ご苦労様でした。

(午前9時58分 閉会)